

1. 事故発生の日時 平成28年11月5日(土) 15時00分頃

2. 事故発生の場所 海南市

3. 事故発生場所の工事名、工期

工事名：港湾工事

工期：平成28年9月24日～平成29年3月24日

4. 請負業者名 県内建設業者

5. 事故発生状況

浚渫の準備作業において、放置されていた小型船舶用アンカーロープ(直径約2cm)等を撤去するため、起重機船(300t吊)で吊り上げ旋回し陸上(根固石上)に仮置きしようとしていたところ、絡みあったアンカーロープのうち1本が切れ、ロープとともに玉掛けワイヤーが隣接の冷蔵倉庫会社の屋上に落下した。

当事故は、物損のみの被害であったが、アンカーロープ及びワイヤーが民地に落下しており、第三者の死傷に繋がる可能性が高かった。

○物損(クーリングタワーカバー、床材、トタン壁に傷)

6. 事故原因

- ・アンカーロープは堆積土砂により位置が確認できず、さらに多数絡み合っている状態で、アンカーロープを吊り上げようとしたため、無理な張力がかかりアンカーロープが切れた。
- ・外れ止め付きフックを使用していたが、アンカーロープが切れ、そのはずみで玉掛けワイヤーが吊フック上方向に移動し、吊りフックと外れ止めの間に入ったことにより、フックから玉掛けワイヤーが外れた。
- ・工事区域周辺の岸壁は関係者以外立入禁止としていたが、隣接する民地については注意喚起等をしていなかった。

7. 改善対策

- ①ロープ等を吊り上げる場合は、ロープ等の位置が確認できない状態、または絡み合っている状態で無理な張力はかけない。また、不測の事態に備え、工事影響範囲は民地も含めて注意喚起等を行う。
- ②当工事では、今後はアンカーロープを吊り上げる作業は行わないこととし、下記のとおり施工方法を変更する。
  - ・浚渫前にアンカーロープを撤去するのではなく、浚渫時にグラブバケットで浚渫土砂とともにアンカーロープを船体に積み込み、浚渫後に土砂とアンカーロープを分別する。
  - ・アンカーロープを掴んだ時は、無理な吊り上げ、旋回はせず、張力の小さい緩んだ状態でロープを切断する。
  - ・KY活動時に変更した作業手順を再確認し、工事関係者に周知徹底する。